

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風箱根ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和5年5月27日	評価結果市町村受理日	令和5年12月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2291200034-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2291200034-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和5年10月15日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

お食事は、バランスやご利用者様の好みを考え、ご利用者様の状態を把握しお一人お一人様にあった形状で提供させて頂いています。食事が減っている方には高カロリー食品等を、ムセやすい方にはゼリー飲料やジュレなどを適宜ご提供し、必要量の摂取・体力低下防止に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

7年以上勤続する職員が半数以上を占め、段取りよく業務を進めて効率化を図る中でも、利用者にはゆとりをもって対応できるよう話し合いをもち、互いにフォローし合う体制が築かれています。重度化して多方面に及び職員の介助を必要とする利用者への周囲の視線を、理解あるあたたかい眼差しに変える心遣いと尊厳の保持に高い意識をもち、さらに今年度は「気づきを大切にしよう」と職員一同が留意してヒヤリハットの報告に努め、その件数は前月の倍以上に増えています。現状に甘んじることなく、常に改善する余地がないか考える謙虚さを持ち、課題を探し続けることが職員の成長につながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作った理念を共有し、実践につなげている。	理念は毎日目にする出勤簿に貼って意識づけています。利用者のカンファレンスの場では、どの職員からも一人ひとりに寄り添ったケアへの発言が聞かれ、浸透を裏付けています。支援の方法に迷った時には理念に立ち返って協議しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	9月のアルツハイマー月間に合わせて、施設紹介の展示を行った。(場所:市民交流センターふじざくら)	感染者数が依然として増加しているニュースから外出へ踏み出しにくい状況が続いていますが、今年度初めて看護学校の実習生6名を受け入れています。レクリエーションを通して利用者とコミュニケーションを図り、グループホームについての学習に協力しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員様を通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナが2類から5類になったが、市内では感染率が高く書面開催が続いている。12月から対面開催を再開する予定である。	区長、組長、民生委員、家族代表に議事録を郵送し、行政には直接届けています。状況報告、行事予定、ヒヤリハットその他、「グループホームの様子」では2ヶ月間の事業所の活動を詳しく記し、何事にも誠実に向き合う姿勢が伝わる議事録となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り分らないことや協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。	運営における疑問点には丁寧な回答がもらえ、世界アルツハイマー月間となる9月には、御殿場市が推進する認知症啓発のための「もっと知ろうもっと語ろう認知症」(認知症について知り、考える機会とする)において当事業所の利用者の暮らしぶりを、展示を通じて発表しました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込んでおり、職員全員へ落とし込みを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会では拘束及び虐待を疑うようなケアや言動の見極めとともに、「身体拘束等未実施を継続するために必要なこと」もテーマに取り上げ、「時間に追われると言葉遣いも荒くなってしまう。業務効率化の工夫で余裕を持って」と話し合いその結果を共有しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでおり、職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言している。社内研修に虐待防止の研修を入れ込み職員全員へ落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に権利擁護について入れ込み、職員全員へ落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は十分に説明し理解して頂くよう努めている。契約後も不明な点があれば、いつでも連絡を頂き都度説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍により、家族会や運営推進会議が開催できていない状況だったが、年末にアンケートを送付して施設運営への意見を頂き反映させている。	運営推進会議はコロナ禍の影響で、参会による開催はできていません。2ヶ月に一回、書面開催での議事録を各メンバーに送付して意見を求めています。近々、対面での開催を予定しており、準備を進めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議などで話し合い、運営に反映させている。	7年以上勤続する職員が半数以上を占め、互いにフォローし合う体制が築かれており、業務の効率化を目指し、段取りよく時間にゆとりをもって対応できるよう職員間で相談しています。個人面談は年に2回ですが、必要と思われる時には随時声をかけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事前にシフトを調整して職員が法人内外の研修(対面やズーム)に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	アルツハイマー月間に合わせて展示物を作成する前に、市内のグループホーム管理者が市役所に集まり意見交換を行った。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に、困っている事や不安な事や要望等などご本人様のお話に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に、困っている事や不安な事や要望等などご家族様のお話に耳を傾け、こちらでの生活に安心して頂けるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人様やご家族様と話をし、ご本人様が必要としているサービスを見極め検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様から情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係が築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と面会して頂いたり一緒に外出できるよう支援している。面会が難しいご家族様には計画書の説明のため訪問する際にご本人様も同行して頂き面会できるよう支援を行っている。	面会場所は玄関先、体調チェックとマスク着用を、時間や人数の制限はありません。孫やひ孫を連れて訪れたり、週に2~3回会いに来る家族もいます。階下のデイサービスを利用して入居した人は、体操やレクリエーションに参加して馴染みの仲間と過ごす日もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支えあえるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じてご本人様やご家族様のフォローを行い、相談や支援するよう努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間で情報共有を行いながら、普段の様子や日常会話等で、一人一人の要望や意向の把握に努めている。	日常の暮らしで交わされる何気ない会話から、「～が食べたい」「～したい」といった一人ひとりの思いを掴んでいます。聴き取った言葉や思いは申し送りノートやユニット会議で情報共有し、利用者担当がアセスメントシート見直しの際、加筆しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅ケアマネやご家族様、ご本人様等から情報収集を行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段生活している際の、心身状態や有する力等の把握に努め職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様、関係者と話し合いそれぞれの意見を反映して計画書を作成している。	モニタリングは3ヶ月ごとに担当職員がおこない、計画作成担当が記録と職員からの意見を集約し6ヶ月毎に介護計画の見直しをしています。家族からの要望は担当者会議開催前に聴取していますが、面会が難しい家族には介護計画更新時、本人を同行して訪問することもあります。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月一回ユニット会議を開催して職員間で利用者様の情報を共有している。それ以外にも、申し送りノートを活用して、利用者様に変化があった時には情報を共有して、計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様、関係者と話し合いそれぞれの意見を反映して計画書を作成している。ご家族様の要望、意向に沿った形で柔軟に支援できるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族様や近隣の民生委員様、地域包括等から情報を提供して頂き、地域行事参加に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。かかりつけ医への受診はご家族様をお願いしているが、ご家族様の対応が難しい時には主に管理者が対応している。	全員が協力医に変更し、月2回の訪問診療には計画作成担当が立ち会っています。記録は往診ノートに記載し、週1日勤務の看護師との連携も堅固です。専門医への受診は家族を基本としていますが、車の乗り降りや本人の状態に応じて職員が送迎をおこなっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	デイサービスと兼務の看護師が、定期的にグループホームを訪問し個々の状況把握に努め、必要な処置を行っている。またその際には職員が気になることを伝え情報共有を行っている。訪問診療時に協力病院の看護師に情報共有を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療方法、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期の在り方についても状況に応じ、訪問診療時にご家族様に同席をお願いし、医師からの説明を受けて頂いている。	契約時は「重度化に係る指針」に基づいて説明し、終末期における延命や救急搬送について確認しています。食事が摂取できなくなるなど重度化が予想される場合には医師の判断とともに「事業所でできること、できないこと」への理解をもって十分な話し合いをしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、また毎年社内研修で職員に落とし込みを行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施している。コロナで参加できなかったが今後は利用者様の状態を鑑みながら地域の防災訓練に参加させていただく事を考えている。	事業継続計画が策定されていますが、地域の実情に合わせたものとなるよう見直しとともに職員への周知・運用を課題としています。年間予定に年2回の訓練を位置づけ、うち一回は夜間想定とし、訓練参加が難しい夜勤専従職員には計画書をもとに指導しています。	勤務シフトでは夜勤専従職員同士がペアとなる日もあるため、引き続き災害対策への正しい知識を備え、的確な発災時の対応を期待いたします。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	多方面で職員の介助が必要な重度の利用者に対する他利用者の蔑みの言動には、それまで以上に重度の利用者へ敬意を払い、少しでも自身でやろうとする姿勢や協応動作に職員は感謝の言葉を添えて周りの利用者に理解を促しており、「尊厳の保持」に高い意識があります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話に傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大切にし、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援、定期的に散髪や希望される方にはヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のものやバランスを考え提供している。入所者様の誕生日には、好きなメニューをお伺いして提供している。	併設デイサービスの兼ね合いで、月～土の昼食は厨房から提供されていますが、日曜日と朝夕は手作りしています。利用者からの意見を取り入れる献立にはお刺身のリクエストが多く、鮮度の良いものを買って求めて食卓に並べた日には満足そうな笑みがこぼれています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎食記録し、栄養バランスを考え提供している。利用者様に合わせた食事形態や、量が減っている方へは高カロリー食品、ムセがある方へはゼリー飲料やジュレなど、利用者様の状況を把握しお一人お一人に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分でできない方へは口腔ケア用ガーゼを使用するなど職員が介助している。義歯は毎夜消毒している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様お一人お一人に合わせたトイレ誘導や介助を行い、不快なく過ごして頂けるよう支援している。	パッド類は3種類備え、吸収量に合わせて不快感のないよう使用し、日中はトイレでの排泄を基本として、立位に不安がある人でも職員二人介助による援助がおこなわれています。便秘対策として食物繊維や運動を取り入れ、できるだけ下剤に頼らない方法を探っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を摂って頂いたり、適度な運動を促している。便秘の時は、ご本人の様子を伺い適宜緩下剤等を使用して便秘の状態が続かないよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を伺いながら、定期的に入浴して頂いている。入浴剤や季節によっては菖蒲湯やユズ風呂を楽しんで頂いている。	冬至には職員が自宅の庭から持参した柚子を浮かべて柚子風呂を楽しみ、「いい香りがする」「体が温まった」と喜ばれています。拒否がある人には時間をおいて声かけしたり、職員を替えて対応しています。羞恥心に配慮し、同性介助もおこなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の習慣やその時の状況に応じ、休息や睡眠を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、利用者様お一人お一人が服薬している薬剤情報を共有している。服薬支援や症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様の様子を伺いながら状況に応じて、施設内敷地や周辺を散歩したりご家族様の自宅訪問の際にはご本人様をお連れすることもある。	外出計画は判断が難しい状況ですが、外の空気に触れたい利用者の意を汲み、事業所周辺を散歩したり、ゴミ出しの職員と一緒に階下へ下りたり、下肢筋力低下防止のためには施設内の階段昇降も取り入れています。初詣には近所の神社にお参りし、それぞれ願い事を行っています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と買い物に行き、好きなものを選んで購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様やご家族様から要望があった時は、電話で話して頂いたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な思いや混乱を招くような刺激がないよう配慮して、居心地よく過ごせるよう努めている。	勤務シフトに応じた清掃分担と1時間に一度の換気で感染予防対策を講じ、現在までクラスターの発生もありません。5類移行後はアクリルパネルを取り払い、清々した空間に七夕やハロウィンなど、協同制作した季節の飾りつけが映えています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でゆっくり過ごされる方や、共有空間にあるソファでくつろぐ方もいらっしゃる。思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に持ってきたものやご家族様が持ってきたもので、その方らしい居場所を作っている。	本人が丹精込めた手まりを飾った居室では、定期的に家族が自宅から持ち寄って作品を交換し、華を添えています。立ち上がりにふらつきがある場合は布団対応としたり、窓からは70センチ以上ベッドを離して設置するなど他事業所の事例からリスクを回避しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人のできる事や分かる事を活かし、できるだけ自立した生活が出来るよう支援している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風富士ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和5年5月27日	評価結果市町村受理日	令和5年12月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2291200034-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=2291200034-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和5年10月15日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

お食事は、バランスやご利用者様の好みを考え、ご利用者様の状態を把握しお一人お一人様にあった形状で提供させて頂いています。食事が減っている方には高カロリー食品等を、ムセやすい方にはゼリー飲料やジュレなどを適宜ご提供し、必要量の摂取・体力低下防止に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

7年以上勤続する職員が半数以上を占め、段取りよく業務を進めて効率化を図る中でも、利用者にはゆとりをもって対応できるよう話し合いをもち、互いにフォローし合う体制が築かれています。重度化して多方面に及び職員の介助を必要とする利用者への周囲の視線を、理解あるあたたかい眼差しに変える心遣いと尊厳の保持に高い意識をもち、さらに今年度は「気づきを大切にしよう」と職員一同が留意してヒヤリハットの報告に努め、その件数は前月の倍以上に増えています。現状に甘んじることなく、常に改善する余地がないか考える謙虚さを持ち、課題を探し続けることが職員の成長につながっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作った理念を共有し、実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	9月のアルツハイマー月間に合わせて、施設紹介の展示を行った。(場所:市民交流センターふじざくら)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員様を通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナが2類から5類になったが、市内では感染率が高く書面開催が続いている。12月から対面開催を再開する予定である。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り分からないことや協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込んでおり、職員全員へ落とし込みを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでおり、職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言している。社内研修に虐待防止の研修を入れ込み職員全員へ落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に権利擁護について入れ込み、職員全員へ落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は十分に説明し理解して頂くよう努めている。契約後も不明な点があれば、いつでも連絡を頂き都度説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍により、家族会や運営推進会議が開催できていない状況だったが、年末にアンケートを送付して施設運営への意見を頂き反映させている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議などで話し合い、運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事前にシフトを調整して職員が法人内外の研修(対面やズーム)に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	アルツハイマー月間に合わせて展示物を作成する前に、市内のグループホーム管理者が市役所に集まり意見交換を行った。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に、困っている事や不安な事や要望などご本人様のお話に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に、困っている事や不安な事や要望などご家族様のお話に耳を傾け、こちらでの生活に安心して頂けるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人様やご家族様と話をし、ご本人様が必要としているサービスを見極め検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様から情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係が築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と面会して頂いたり一緒に外出できるよう支援している。面会が難しいご家族様には計画書の説明のため訪問する際にご本人様も同行して頂き面会できるよう支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支えあえるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じてご本人様やご家族様のフォローを行い、相談や支援するよう努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間で情報共有を行いながら、普段の様子や日常会話等で、一人一人の要望や意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅ケアマネやご家族様、ご本人様等から情報収集を行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段生活している際の、心身状態や有する力等の把握に努め職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様、関係者と話し合いそれぞれの意見を反映して計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月一回ユニット会議を開催して職員間で利用者様の情報を共有している。それ以外にも、申し送りノートを活用して、利用者様に変化があった時には情報を共有して、計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様、関係者と話し合いそれぞれの意見を反映して計画書を作成している。ご家族様の要望、意向に沿った形で柔軟に支援できるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族様や近隣の民生委員様、地域包括等から情報を提供して頂き、地域行事参加に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。かかりつけ医への受診はご家族様をお願いしているが、ご家族様の対応が難しい時には主に管理者が対応している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	デイサービスと兼務の看護師が、定期的にグループホームを訪問し個々の状況把握に努め、必要な処置を行っている。またその際には職員が気になることを伝え情報共有を行っている。訪問診療時に協力病院の看護師に情報共有を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療方法、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期の在り方についても状況に応じ、訪問診療時にご家族様に同席をお願いし、医師からの説明を受けて頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、また毎年社内研修で職員に落とし込みを行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施している。コロナで参加できなかったが今後は利用者様の状態を鑑みながら地域の防災訓練に参加させていただく事を考えている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話に傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大切にし、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援、定期的に散髪や希望される方にはヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のものやバランスを考え提供している。入所者様の誕生日には、好きなメニューをお伺いして提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎食記録し、栄養バランスを考え提供している。利用者様に合わせた食事形態や、量が減っている方へは高カロリー食品、ムセがある方へはゼリー飲料やジュレなど、利用者様の状況を把握しお一人お一人に合わせて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分でできない方へは口腔ケア用ガーゼを使用するなど職員が介助している。義歯は毎夜消毒している。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様お一人お一人に合わせたトイレ誘導や介助を行い、不快なく過ごして頂けるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を摂って頂いたり、適度な運動を促している。便秘の時は、ご本人の様子を伺い適宜緩下剤等を使用して便秘の状態が続かないよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を伺いながら、定期的に入浴して頂いている。入浴剤や季節によっては菖蒲湯やユズ風呂を楽しんで頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の習慣やその時の状況に応じて、休息や睡眠を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、利用者様お一人お一人が服薬している薬剤情報を共有している。服薬支援や症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様の様子を伺いながら状況に応じて、施設内敷地や周辺を散歩したりご家族様の自宅訪問の際にはご本人様をお連れすることもある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と買い物に行き、好きなものを選んで購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様やご家族様から要望があった時は、電話で話して頂いたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な思いや混乱を招くような刺激がないよう配慮して、居心地よく過ごせるよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でゆっくり過ごされる方や、共有空間にあるソファでくつろぐ方もいらっしゃる。思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に持ってきたものやご家族様が持ってきたもので、その方らしい居場所を作っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人のできる事や分かる事を活かし、できるだけ自立した生活が出来るよう支援している。		